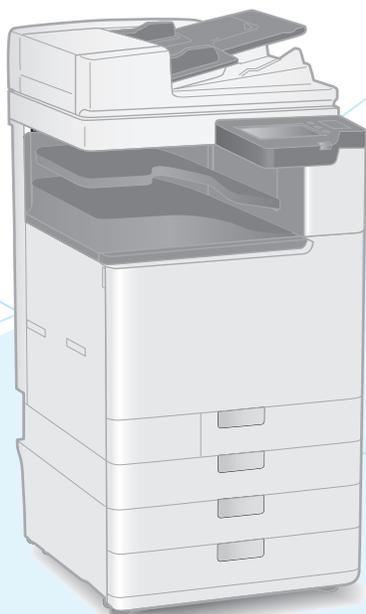


# Canon

## imageRUNNER C3222F

# はじめに お読みください



本機の設定をしよう



日常的にお使いになるときに

安全にお使いいただくために

## 設定のしかたと使いかた

ご使用前に必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。➡ P.19

お読みになった後は

本書は将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

※本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

macOSをお使いのお客様へ

macOS 用ドライバーの対応状況はキヤノンホームページでご確認ください。

商品別OS 対応状況は<https://canon.jp/support>を、最新ドライバーのダウンロードについては<https://canon.jp/download>をそれぞれご覧ください。

ユーザーズガイド/Q&A

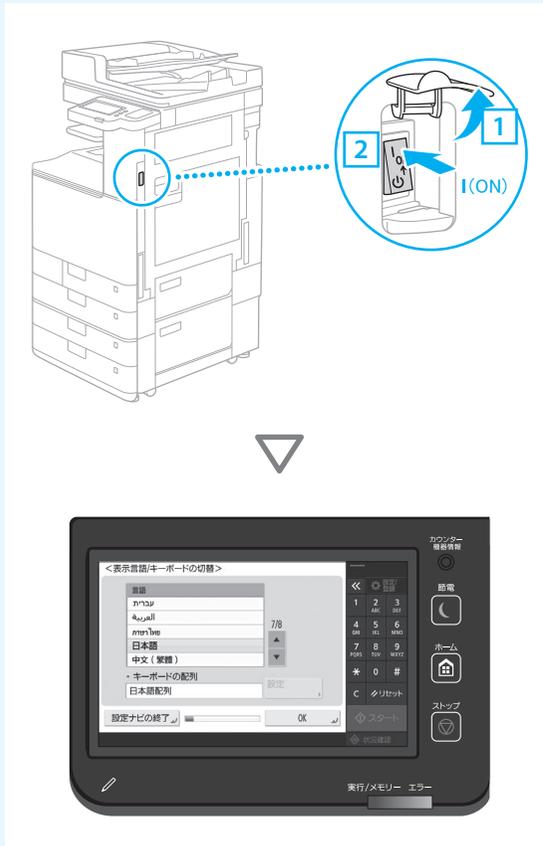


<https://oip.manual.canon/>

# 設定する

## 本体の初期設定をする

設置終了後、最初に電源を入れる  
⇒**設定ナビ**が起動します！

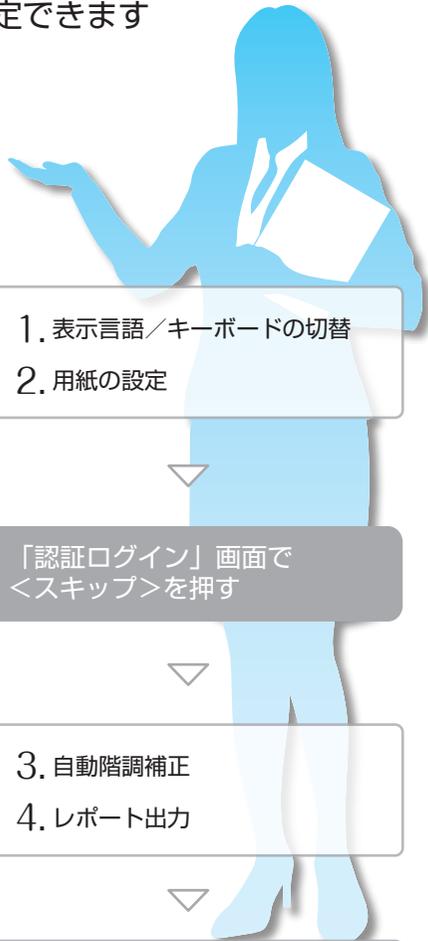


とりあえず  
コピーを使いたいときは…  
⇒ **CASE1** へ

すべての機能を使いたいときは…  
⇒ **CASE2** へ

## CASE1

どなたでも  
設定できます



1. 表示言語／キーボードの切替
2. 用紙の設定

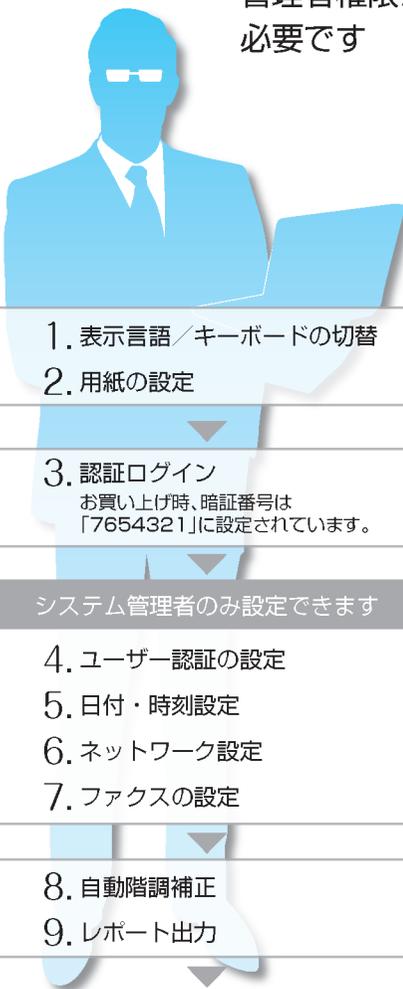
「認証ログイン」画面で  
<スキップ>を押す

3. 自動階調補正
4. レポート出力

設定完了！  
コピーなど限定的な機能が使えます。

## CASE2

管理者権限が  
必要です



1. 表示言語／キーボードの切替
2. 用紙の設定

3. 認証ログイン  
お買い上げ時、暗証番号は  
「7654321」に設定されています。

システム管理者のみ設定できます

4. ユーザー認証の設定
5. 日付・時刻設定
6. ネットワーク設定
7. ファクスの設定

8. 自動階調補正
9. レポート出力

続いて、必要に応じて右記の設定を  
します。

ネットワーク環境を設定する

 [ユーザーズガイド](#)  
**PMW-STNW** [検索](#)  
 検索番号の使いかた [裏表紙](#)

※無線LANで接続する場合も  
こちらをご覧ください。

ドライバーをインストールする

 [ユーザーズガイド](#)  
**PMW-INDR** [検索](#)

Eメール／ファクスの通信設定をする

 [ユーザーズガイド](#)  
**PMW-STCM** [検索](#)

設定完了！

コンピューターからのプリントや  
ファクスなど、すべての機能が使えます。

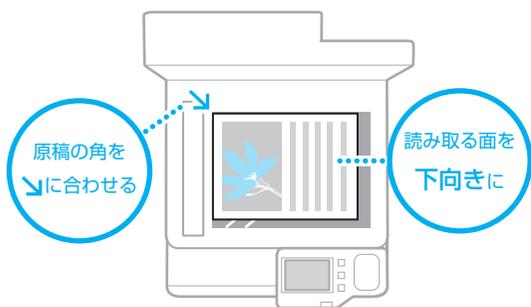
設定ナビについてもっと詳しく知りたいときは

[ユーザーズガイド](#)  
**PMW-STSG** [検索](#)

# お使いになる前に

## 原稿は正しく置きましょう

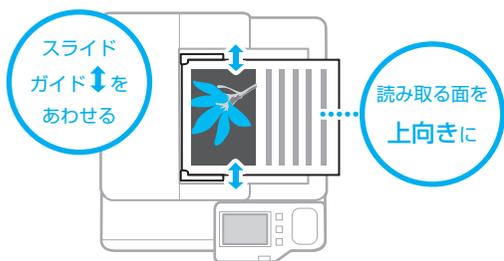
### 原稿台ガラスに置く



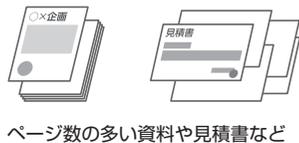
### こんな原稿におすすめ



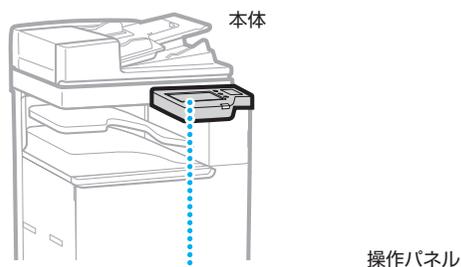
### フィーダーに置く



### こんな原稿におすすめ



## 操作パネルから操作開始



### タッチパネルディスプレイ



- 1. [節電] キー**  
スリープモード（節電状態）を起動／解除するときに押します。  
・スリープモード：点灯  
・スリープモード解除：消灯
- 2. [ホーム] キー**  
コピーやスキャンなどの各機能や設定メニューの入口となるホーム画面を表示するときに押します。
- 3. [ストップ] キー**  
送信ジョブおよびプリントジョブを中止します。

# コピーする

1 原稿をセットする  
➡ P.4 「原稿は正しく置きましょう」

2 ホームで<コピー>を押す



3 コピー部数を入力する

4 必要に応じて**コピー設定**をする



5 ⏴ <スタート>を押す

## ■ ページ集約

複数の原稿を縮小して1枚の用紙にコピー。  
用紙を節約できます。



## ■ 両面・片面

2枚の原稿を両面コピーしたり、両面原稿を2枚に片面コピーしたりできます。



## ■ 拡大・縮小

「A5→A3」など定型サイズ変倍や、1%刻みの  
拡大／縮小ができます。



さらに詳しく知りたいときは

コピーする ➡ ユーザーズガイド

PMW-CPIG

🔍 検索

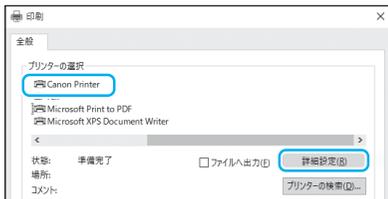


検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

# プリントする

1 印刷したい文書を開き、アプリケーションの印刷機能を選ぶ

2 本機のプリンタードライバーを選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリック



3 用紙サイズを設定する

4 給紙部と用紙種類を設定する

5 必要に応じて**プリント設定**をする



6 [OK] をクリック

7 [印刷] または [OK] をクリック

## ■ 両面

用紙の両面に印刷。とじしろも設定できるので、ホチキス留めするときにも便利です。



## ■ 集約

複数のページを縮小して、1枚の用紙に印刷。サムネイルで閲覧したり、用紙を節約したりするときに便利です。



## ■ 製本印刷

用紙の両面に2ページずつ原稿を印刷します。用紙の中央で折ると本のような体裁に！



📖 各機能の詳細およびそのほかの機能については、ドライバーのヘルプをご覧ください。

# ファクスする

1 原稿をセットする  
▶ P.4 「原稿は正しく置きましょう」

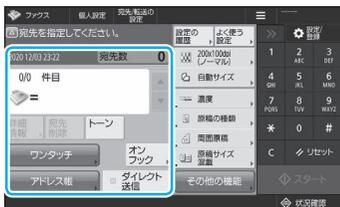
2 ホームで<ファクス>を押す



3 宛先を入力する

! よく使う宛先はアドレス帳に登録しておく便利です。

▶ P.9 「宛先を登録する(アドレス帳)」



4 必要に応じてファクス設定をする

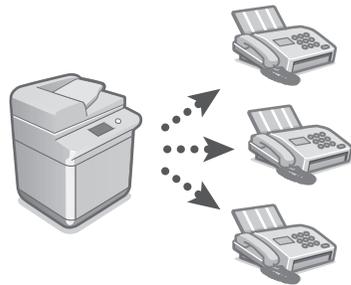


5 ◀> <スタート>を押す

用途に応じてファクス機能を使い分け！

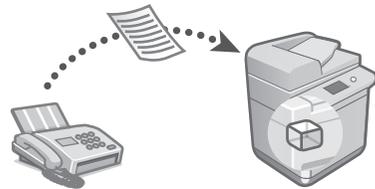
## ■ 同報送信

1回の操作で複数の宛先にファクスを送信できます。



## ■ メモリー受信

受信したファクス文書をいったんメモリーに保存して、好きなときに印刷できます。



## ■ PCファクス

パソコンで作成した文書を、印刷するのと同じ要領でファクスすることができます。

さらに詳しく知りたいときは

ファクスする ▶ ユーザーズガイド

PMW-FXIG

検索



検索番号の使いかた ▶ 裏表紙

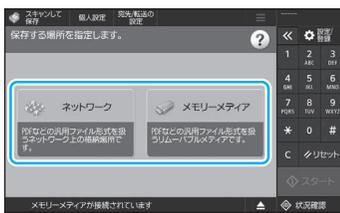
# スキャンする

1 原稿をセットする  
➔ P.4 「原稿は正しく置きましょう」

2 ホームで<スキャンして送信>/  
<スキャンして保存>を押す



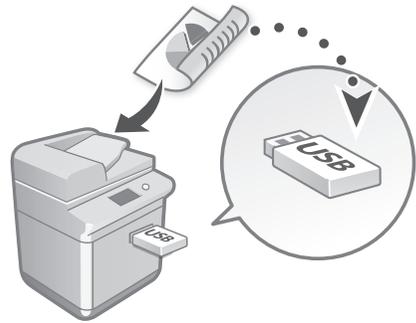
3 スキャンの種類を選び、情報を入力する



4 ◀スタート▶を押す

## ■ USBメモリーに保存

本体に差したUSBメモリーに直接保存！データの持ち運びが簡単です。



## ■ Eメール送信

本機から直接Eメールで送信します。パソコンを通さずスピーディー！

## ■ ファイルサーバーへ送信

スキャンデータをパソコンの共有フォルダーやFTPサーバーに保存します。紙の資料をデータ化共有するときに便利です。

さらに詳しく知りたいときは

スキャンの基本操作  
➔ ユーザーズガイド

PMW-BASC 🔍 検索

📖 検索番号の使いかた ➔ 裏表紙

パソコンからスキャンするときは？

## ■ 付属のスキナードライバーを使う

読み込んだ原稿を、いつも使っているアプリケーションに直接取り込んで編集することができます。

パソコンを使ってスキャンする  
(リモートスキャン)

➔ ユーザーズガイド

PMW-RSCN 🔍 検索

# 宛先を登録する (アドレス帳)

よく使う宛先は、あらかじめアドレス帳に登録しておくと簡単に呼び出せます。

1 ホームで<宛先 / 転送の設定>を押す



2 宛先の種類を選び、情報を入力する



3 <OK>を押す



■ ファクス



■ グループ



■ Eメール



■ Iファクス



■ ファイル



さらに詳しく知りたいときは

宛先を登録する [ユーザーズガイド](#)

PMW-RGDS

[検索](#)

[検索番号の使いかた](#) [裏表紙](#)

パソコンから宛先の設定をするときは？

■ リモートUIから設定

リモートUIを使ってもアドレス帳の宛先登録や登録内容の確認、編集ができます。

リモートUIから宛先を登録する

[ユーザーズガイド](#)

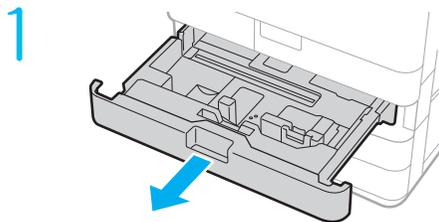
PMW-RGUI

[検索](#)

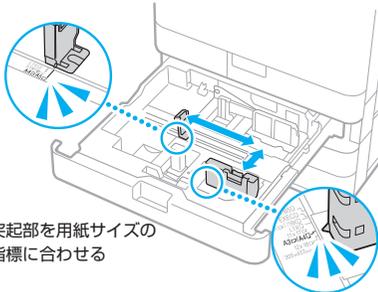
# 用紙をセットする

## 給紙カセットにセットする

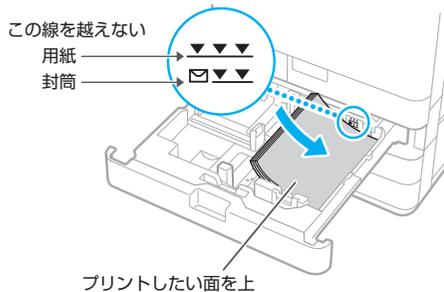
共通の操作は、給紙カセット2を例にして説明します。



2 水色のつまみをスライドさせて、用紙ガイドを調整する



3 用紙をよくさばいてからセットする



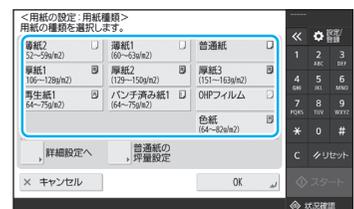
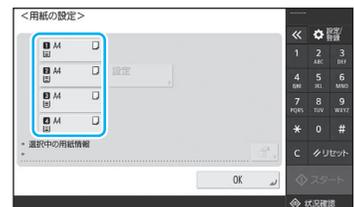
4 カセットを本体に戻す

- ! カセットと本体のすき間に指をはさまないように注意してください。
- 💡 用紙のサイズを変更したときは、必要に応じて用紙サイズラベルを貼りかえてください。

用紙の種類を変えた場合は、必ず用紙設定を行ってください。

### ■ 用紙の設定をする

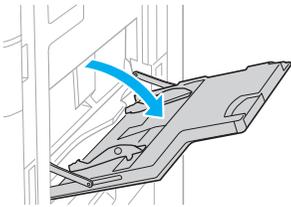
- 1 ホームで<設定 / 登録のショートカット>を押す
- 2 <用紙の設定>を押す
- 3 画面表示に従って、用紙のサイズと種類を設定する



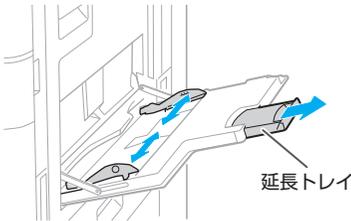
## 手差しトレイにセットする

コート紙など、紙送りがうまくできない用紙の場合は、1枚ずつセットしてください。

1

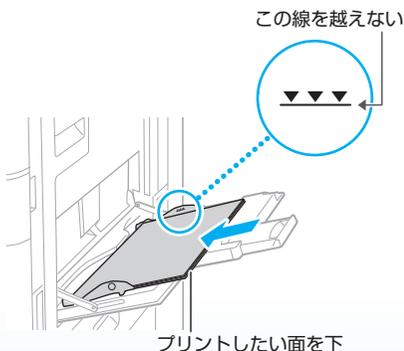


2 セットする用紙よりも少し広めに用紙ガイドをセットする

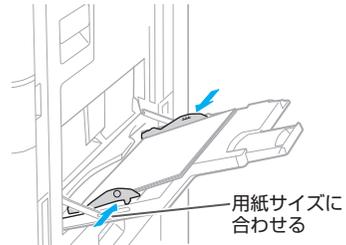


大きなサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。

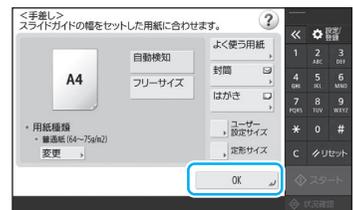
3 よくさばき、平らな場所で用紙の端をそろえてから、セットする



4 用紙ガイドを用紙に合わせる



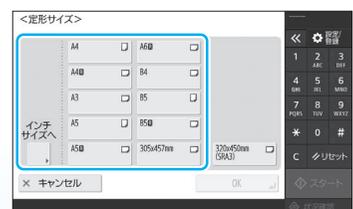
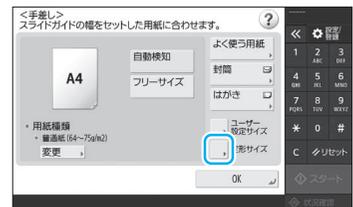
5 用紙のサイズと種類を確認し、**< OK >**を押す



■ サイズや種類がセットした用紙と異なる場合は

手順5の画面で、手動で設定を変更します。

1 用紙のサイズを設定する



# 用紙をセットする

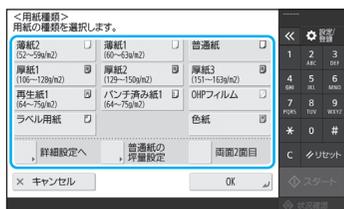
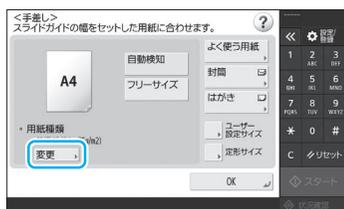
定形サイズ以外の用紙をセットするときは

手差しトレイにセットする [ユーザーズガイド](#)

PMW-SPMT

[検索](#)

## 2 用紙の種類を設定する



手差しトレイにセットする

ロゴ付きの用紙をセットする

## ロゴ付きの用紙をセットする

下表を参考に正しい向きにセットしてください。

例) A4サイズの内紙にプリントする場合

置きかた		印刷結果
給紙カセット1 / 給紙カセット2 ※給紙カセット2を例にしています。	手差しトレイ	
※カセット2のみ		
※カセット2のみ		

ロゴ付きの用紙にコピーする場合 [ユーザーズガイド](#)

用紙セットの基本操作

給紙カセットの場合 [P.10](#)

手差しトレイの場合 [P.11](#)

## 封筒をセットする

- ・ 給紙カセット、および手差しトレイにセットできます。
- ・ 封の部分にのりが付いた封筒を使用すると、定着器の熱や圧力により、のりが溶けることがあります。
- ・ 封筒のウラ面（貼り合わせがある面）にはプリントしないでください。
- ・ 給紙カセットの場合は封筒のおモテ面を上にして、手差しトレイの場合は封筒のおモテ面を下にしてセットします。セットする向きは下の表をご覧ください。

セット方法について詳しくは [👉 ユーザーズガイド](#)

	給紙カセット1	給紙カセット2	手差しトレイ
長形4号 長形40号	—		—
洋形長3号			
長形3号 角形2号*			
Monarch COM10 No.10 DL	—		
ISO-C5		—	

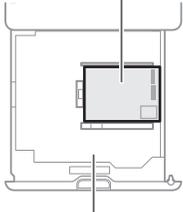
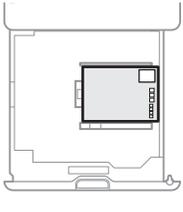
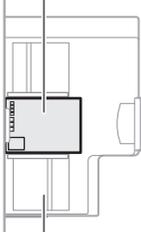
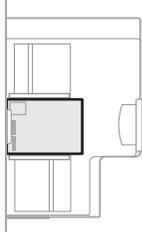
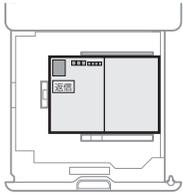
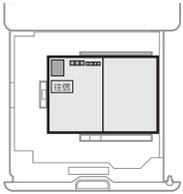
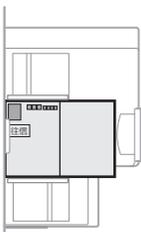
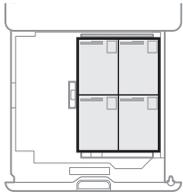
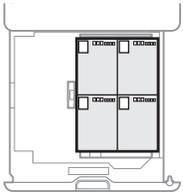
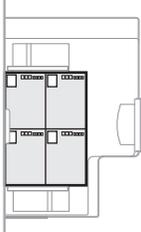
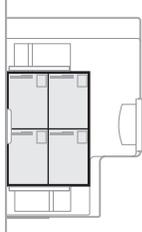
\* 給紙カセット1にはセットできません。

# 用紙をセットする

## はがきをセットする

- ・ 給紙カセット、および手差しトレイにのみセットできます。
- ・ インクジェット用の郵便はがきは使用できません。
- ・ 給紙カセットの場合はプリントする面を上にして、手差しトレイの場合はプリントしたい面を下にしてセットします。セットする向きは下の表をご覧ください。

セット方法について詳しくは [ユーザーズガイド](#)

	給紙カセット1 / 給紙カセット2 ※給紙カセット2を例にしています。		手差しトレイ	
	通信面	宛名面	通信面	宛名面
はがき	<p>はがき</p>  <p>給紙カセット</p>		<p>はがき</p>  <p>手差しトレイ</p>	
往復はがき				
4面はがき				

ⓘ はがきにコピーする場合

[ユーザーズガイド](#)

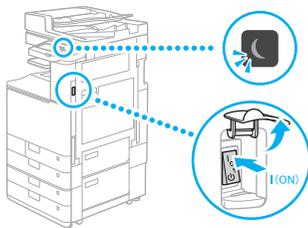
# こんなときは…

## 故障かな?と思ったときは

以下を確認してください。

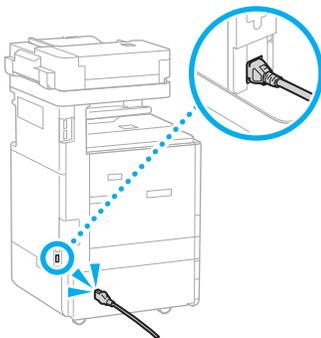
- 電源は入っていますか?
- スリープモードになっていませんか?

タッチパネルディスプレイと  が消灯していたら、電源スイッチを押す。



電源スイッチ

- 電源コードは接続されていますか?



解決しないときは、以下を参考にしてください。

- ・ユーザーズガイド
- ・Q&A検索  
(<https://cweb.canon.jp/e-support/index.html>)

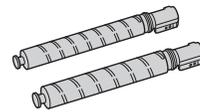
## 用紙がつまったときは

画面の指示に従って、用紙を取り除いてください。



## 消耗品を交換するときは

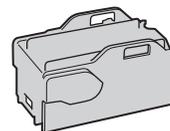
### ■ トナー容器



キヤノン純正トナー容器です。

- ・Canon NPG-67 Toner Black (キヤノン NPG-67 トナー ブラック)
- ・Canon NPG-67 Toner Cyan (キヤノン NPG-67 トナー シアン)
- ・Canon NPG-67 Toner Magenta (キヤノン NPG-67 トナー マゼンタ)
- ・Canon NPG-67 Toner Yellow (キヤノン NPG-67 トナー イエロー)

### ■ ホチキスの針



ステイプル・P1

以下のオプションで使用できます。  
インナーフィニッシャー・L

故障かな?と思ったときは 用紙がつまったときは

消耗品を交換するときは

# こんなときは…

メンテナンス ➔ ユーザーズガイド

困ったときは? ➔ ユーザーズガイド

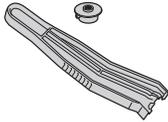
PMW-MNTC

検索

PMW-TROB

検索

## ■ スタンプカートリッジ



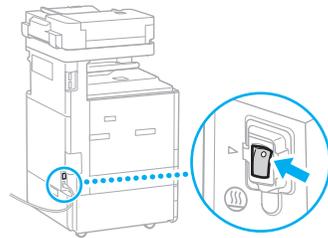
スタンプインクカートリッジ・C1

## ■ 画像にムラがある／かすれる

### 確認! ①

#### 用紙が湿っていませんか?

除湿スイッチを入れてください。それでも回復しない場合は、湿っていない用紙と交換してください。

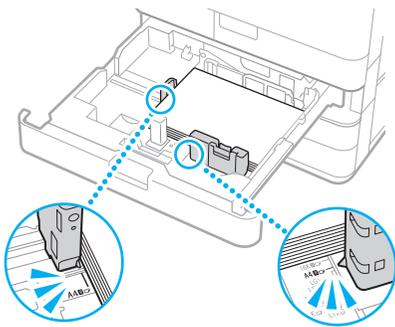


## きれいに印刷できない

## ■ 印刷画像がずれる／斜めになる

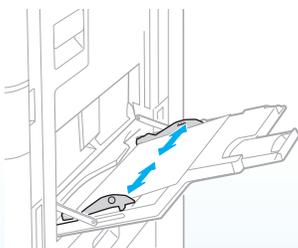
### 確認!

#### 用紙ガイドがずれていませんか?



指標に合わせる

#### 手差しトレイの場合



### 確認! ②

#### 階調や濃度は適切ですか?

階調補正を行ってください。

- ① <設定/登録>を押す
- ② タッチパネルディスプレイで<調整/メンテナンス>▶<画質調整>▶<自動階調補正>を押す

画面の指示に従って、自動階調補正を行ってください。

詳しく知りたいときは、ユーザーズガイドをご覧ください。

階調を補正する ➔ ユーザーズガイド

PMW-AJGR

検索



検索番号の使いかた ➔ 裏表紙

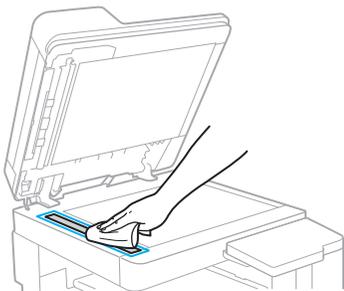
## ■ 黒いすじがつく

### 確認!

原稿読み取りエリアを清掃してください

- ① フィーダーを開き、付属のガラス清掃シートで下側の原稿読み取りエリアを拭く

🔍 汚れ防止コーティングが取れてしまうので、ガラスクリーナーやアルコール溶剤等を使わないでください。



- ② フィーダーを閉じる

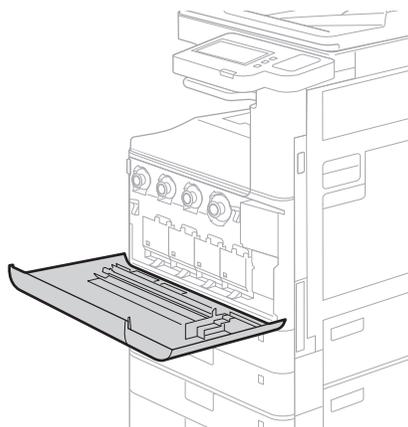
🔍 汚れを拭いても黒いすじがつくときは、フィーダーのクリーニングを実行します。詳しく知りたいときは  
➡ ユーザーズガイド

## ■ 白いすじがつく/すじ状に色がかわる

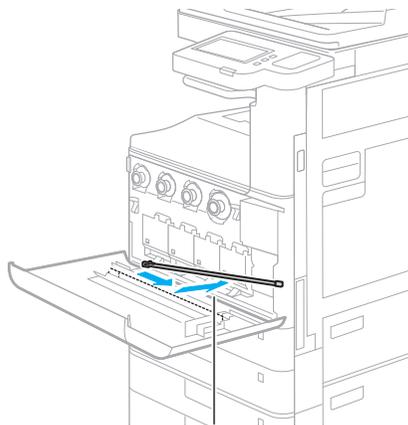
### 確認!

防塵ガラスを清掃してください

- ① 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
- ② 前カバーを開く



- ③ 清掃棒を取り出す



右側にスライドさせて取り出す

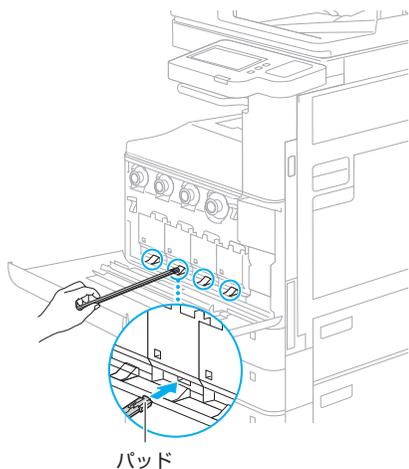
# こんなときは…

困ったときは? ユーザーズガイド

PMW-TROB

検索

- ④ 先端のパッドを下に向けて、穴に差し込む



- ⑤ 穴の奥に突き当たるまで差し込み、前後に動かす

❗ 4か所すべての穴を清掃してください。

- ⑥ 清掃棒を戻して、前カバーを閉じる  
⑦ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

## ■ 裏写りする

### 確認! ①

#### コピーの設定は適切ですか?

原稿が裏写りしている場合は、裏写りを軽減するボタンがホームに準備されています。

- ① ホームで<コピー (裏写り防止)>を押す



- ② <はい>を押す

### 確認! ②

#### 背景の濃度は適切ですか?

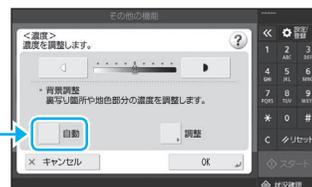
原稿が裏写りしている場合は、背景濃度を調整するときれいに印刷することができます。

- ① ホームでファンクションを選ぶ  
② <その他の機能>を押す

例) ファクス



- ③ 押す



- ④ 押す

- ⑤ <OK>を押す

# 安全にお使いいただくために

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。さらにオンラインマニュアルサイト(<https://oip.manual.canon/>)の本機マニュアルにも記載がありますので、お読みになり、正しくお使いください。また、このマニュアルに記載されていないことは行わないでください。マニュアルの記載に従わない使用が、不適切な使用かた、弊社および弊社指定以外の第三者による修理/変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

## 警告

製品の取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

## 注意

製品の取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや製品故障以外の物的損害を防ぐための注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

## 重要

操作上、必ずお守りいただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずこの重要事項をお守りください。

## 安全規格関連の注意マーク

- 電源スイッチオン (入)
- 電源スイッチオフ (切)
- スタンバイ (待機状態)
- フッシュ/フッシュスイッチ
- オン/オフ
- 保護接地端子
- 感電注意：内部に危険電圧有。カバーを外さないでください。
- 高温注意：触れないよう注意してください。
- クラスII機器
- 可動部有。可動部に触れないよう注意してください。
- 感電注意：すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 鋭利なふち有。鋭利なふちに触れないよう注意してください。

## MEMO

お使いの機種によっては表記されていないマークもあります。

## 化学安全情報について

製品の安全データシート (SDS) は <https://canon.jp/ecology/>にて提供しております。

## 設置について

本機を安全にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みの上、適切な場所に設置してください。

## 警告

次の場所には設置しない

- 火災や感電のおそれがあります。
- 通気口をふさぐおそれのある場所 (壁の近く・カーテン・毛足の長いじゅうたんの上など)
- ホコリや湿気の多い場所
- 熱器具の近く、火気のある場所
- アルコールやシンナーなどの引火性溶剤の近く

## 医療用機器の近くで無線LANを使用しない (無線LAN機能搭載製品のみ)

電波が医療用機器に影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。

## 注意

次の場所には設置しない

故障したり、人体や他の機器に影響を与えたりするおそれがあります。

- 屋外や、直射日光の当たる場所
- 低温・低湿、または高温・高湿の場所
- 急激な温度変化や湿度変化のある場所
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- テレビ・ラジオ・コンピューターなどの電子機器や精密機械の近く
- 化学反応が発生する場所 (実験室など)
- 腐食性ガス (エアゾールスプレーやアンモニアなど) が充満している場所
- 不安定な場所、振動のある場所
- 本機のお重みによって、ゆがみや沈みが生じる可能性のある場所 (じゅうたん・畳・ベッドなど)
- 本機からの排気が人体に直接当たる場所

## 換気しながら使用する

本機の使用中にはオゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、部屋の換気をするようにしてください。

## 設置後はストッパーを外さない (付属製品のみ)

本機が動いたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

## 重要

### 無線LANを利用する場合 (無線LAN機能搭載製品のみ)

- 無線LANルーターとの距離が50m以内の場所に設置してください。
- できるだけ遮蔽物のない場所に設置してください。壁越しやフロア間の通信は、つながりにくくなります。
- デジタルコードレス電話機や電子レンジなどの電波を発生する機器からは、できるだけ離して設置してください。

### 電話回線に接続 (ファクス対応機のみ)

- 電話回線の抵抗値と本機の抵抗値の合計が1700Ωを超える場合など、電話回線や地域などの条件によっては、通信できないことがあります。このような場合は、販売店または担当サービスに連絡してください。
- 本機はNTTのアナログ回線に準拠しており、一般の加入電話回線のみには接続できません。ビジネスホンなどを接続している専用回線に接続すると、故障するおそれがあります。必ず回線を確認してから接続してください。

- 本機にはカセットヒーターが内蔵されています。オプションを装着せずに耐熱性の低いビニール製デスクマットの上などに設置した場合、デスクマットが熱で変質するおそれがあります。

## 電源について

### 警告

#### 電源プラグやコードを正しく使う

誤った使用かたをすると、火災や感電のおそれがあります。

- 本機への電源供給が安全であることと、安定電圧であることを確認して使用する
- 仕様と異なる電源電圧で使用しない
- 付属の電源コードを使って、本機を確実にアース端子付きコンセントに接続する
- 付属の電源コード以外は使用しない
- 付属の電源コードを本機以外に使用しない
- 複数の接続口を持つコンセントに本機の電源コードを接続した場合は、残りの接続口にはほかの機器を接続しない
- 延長コードを使用しない
- 電源コードに足を引っ掛けたりしない
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理

- に曲げる、などをしない
- 電源コードに重いものをせない
- 電源コードを束ねたり、結んだりしない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コネクタを頻りに抜き差ししない
- 電源コネクタに強い衝撃を加えない
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む
- 雷が発生した場合は、本機に触らない
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
- 連休などで長期間本機を使用しないときは、電源を切り、電源プラグを抜く

### アース線の接続は次のことを守る

誤った接続をすると、ガス爆発・火災・感電のおそれがあります。

- コンセントのアース端子、または接地工事 (D種) が行われているアース端子に取り付ける
- 次の場所には、絶対にアース線を接続しない
  - 水道管 (水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できる)
  - ガス管
  - 電話線のアースや避雷針

## 重要

- 非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。
- 作業は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作や故障のおそれがあります。
- 電源コードをパソコン本体の補助コンセントに接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。
- 電気的なノイズは、本機の誤動作、またはデータ消失のおそれがあります。
- 電源コードを抜いて再度接続する場合は、5秒以上間隔を空けてください。
- 許容範囲を超える電源電圧の降下は、本機やパソコンの誤動作、またはデータ消失のおそれがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などに相談してください。

## 取り扱いについて

### 警告

#### 次の取り扱いを守る

誤った取り扱いをすると、火災・感電・やけどのおそれがあります。

- 異音や異臭がする、発熱・発煙している、部品が破損しているなどの場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、販売店または担当サービスに連絡する
- 本機の分解や改造をしない
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などは、子供の手が届かないよう注意する
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かない
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しない
- 本機を移動する場合は、必ず電源を切り、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルと電源コードを取り外す
- 電源プラグをコンセントに差したままUSBケーブルを抜き差しする場合は、コネクタの金属部分に触らない
- 本機の接続部 (電源コンセントやコネクタなど)、指定品以外を接続しない

### 清掃・点検は正しく行う

誤った方法で行うと、本機が正しく動作しなかったり、火災・感電・静電気が発生したりするおそれがあります。

- 定期的な本機を清掃する
- 清掃する前に、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
- 電源プラグは定期的に抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取る
- 水で湿らせ固く絞った布を使用する。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー・紙タオルなどは使用しない。
- 発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂がないかどうかを、定期的に確認する

### 心臓ペースメーカーをご使用の方へ

本機またはトナーカートリッジから微弱な磁気や超音波が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師に相談してください。

### ▲ 注意

原稿台ガラスに重いものを落とさない

ガラスが破損して、けがをすることがあります。

### 次の取り扱いを守る

けが・故障・紙つまりのおそれがあります。

- 本機の上に重いものを置かない
- 開閉部を操作する場合は、手を挟まないように注意する
- 手などを巻き込まないように排紙部のローラーに触らない
- 用紙を補給する場合や紙つまりを取り除く場合は、用紙の端や部品で手を切らないように注意する
- 本機に強い衝撃や振動を与えない
- 開閉部を無理に開け閉めない
- 本機の稼働中に電源を切らない
- 稼働中にカバーの開閉や用紙の出し入れを行わない
- 本機内部に無理に手を入れない

### 移動の際は連絡する

本機の移動は、お客様ご自身で行わず、必ず販売店または担当サービスに連絡してください。

### フィーダーまたは原稿台カバーは正しく取り扱い

誤った取り扱いをすると、けがをすることがあります。

- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーする場合は、フィーダーや原稿台カバーを破損するほど強く押さない
- フィーダーや原稿台カバーはゆっくりと閉じる
- フィーダーや原稿台カバーの奥に、手や指を差し入れない



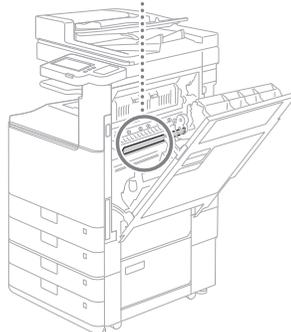
カセットを引き抜いた状態で、本体内部に手を入れない(カセット装着機のみ)

けがをすることがあります。

高温・高電圧の箇所に触れない

けがややけどのおそれがあります。

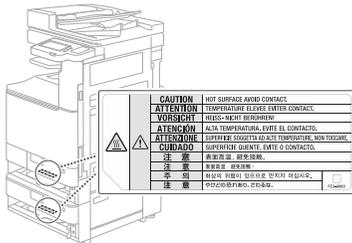
- 本体内部では、マニュアルで指示されている箇所に手を触れない
- 使用直後は、本体内部や排紙口が高温になるため、手を触れない
- 連続印刷すると用紙が熱くなることもあるため、取り扱いに注意する



### カセットヒーターについて

#### (カセットヒーター装着製品のみ)

カセットを外して本体内部の点検をするときは、ヒーター周辺に直接触れないように注意するか、本体の電源を切って十分温度が下がってから点検して下さい。やけど、または低温やけどの原因になることがあります。



### ■ 規格/規制について

#### 本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の( )内の名称で登録されていることがあります。  
imageRUNNER C3222F (F810400)

#### 電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

#### 高調波の抑制について

本機器はJIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

#### 電波法について

本製品には、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備(認可番号: 010-100098)を用いています。

#### 電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の放射を停止した上、お客様相談セ

ンター(お問い合わせ)へご連絡の上、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。

3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センター(お問い合わせ)へお問い合わせください。

## 2.4 DS/OF 4

2.4 : 2.4 GHzの周波数帯域を使用することを示します。

DS/OF : 変調方式にDS-SS方式およびOFDM方式を採用していることを示します。

4 : 想定される干渉距離が「40 m以下」であることを示します。

— : 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」「アマチュア無線局」帯域を回避可能であることを示します。

### ▲ 警告

#### レーザー光について、次の注意事項を守る

レーザー光が漏れて目に入った場合は、目に障害が起こるおそれがあります。

- 本機のマニュアルで指示された以外のカバーは、絶対に開けない
- マニュアルで規定された、制御、調整、および操作手順以外の利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があるため、絶対に行わない

### ❗ 重要

- この製品はIEC60825-1:2014およびEN60825-1:2014においてクラス1レーザー製品であることを確認しています。レーザー光は、人体に有害になるおそれがあります。そのため本機では、レーザー光をカバーや外装で遮蔽しており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。

#### レーザー光の注意表示



# 付録

## ■ 原稿などを読み込む際の注意事項

著作物、通貨、有価証券、公文書などを原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられることがありますのでご注意ください。

### 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製すると、肖像権が問題となることがあります。

### 通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証券
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

### 公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

### 関係法律について

- 刑法
- 郵便法
- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪罰法
- 外国に於て流通し貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 印紙等模造取締法

## ■ 消耗品について

### ▲ 警告

#### 消耗品は次の取り扱いを守る

- 誤った取り扱いをすると、やけどや火災のおそれがあります。
- トナー容器・回収トナー容器を火中に投じない
  - トナー容器・回収トナー容器・用紙を、火気のある場所に保管しない
  - トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸い込まないように掃き集めるか、濡れた雑巾などで拭き取る。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しない。

### ▲ 注意

#### 消耗品は次の取り扱いを守る

- 誤った取り扱いをすると、けがや健康を害するおそれがあります。万一、トナーを吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、医師に相談してください。
- 幼児の手が届かないところへ保管する
  - 分解しない
  - トナー容器からトナーが漏れた場合は、吸い込んだり直接皮膚に付けたりしないように注意する。皮膚に付いた場合は、石鹸を使い水で洗い流す。刺激が残るときは、ただちに医師に相談する。
  - 回収トナー容器を引き出すときは、落下に注意する

### ❶ 重要

- 紙づまり処理やトナーなどの消耗品を交換する場合は、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。

- トナーが衣服や手に付着した場合は、ただちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。

- スタンピングカートリッジを交換する場合は、インクで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、ただちに水で洗い流してください。

## ■ 本書について

### イラストについて

文中で使われているイラストは、特に注意書きがない限り、imageRUNNER C3222Fに次のオプションが装着されているものです。

- インナー2ウェイトレイ・M
- 2段カセットペディスタル・AW



### 画面について

文中で使われている画面は、特に注意書きがない限り、imageRUNNER C3222Fに次のオプションを装着したものです。

- インナー2ウェイトレイ・M
- 2段カセットペディスタル・AW

オプションの組み合わせによっては、一部の機能が使用できなくなります。使用できない機能は画面に表示されません。

### 商標記載

Macは、Apple Inc.の商標です。  
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの商標です。  
本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。  
All other trademarks are the property of their respective owners.

### 免責事項

- 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

### 著作権

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

## ■ 第三者のソフトウェアについて

お客様がご購入のキヤノン製品（以下、「本製品」）には、第三者のソフトウェア・モジュール（その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」）が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下1～8のライセンス条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」に含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。
  - お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
  - お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、変更、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

「本製品」には、上記1～8のライセンス条件にかかわらず、別途固有のライセンス条件が適用される「第三者のソフトウェア」が含まれます。「本製品」のプラットフォームバージョンをご確認のうえ、下記のホームページを参照していただき、該当するプラットフォームバージョンの取扱説明書に記載されている「付録」の「第三者のソフトウェアについて」をご確認ください。  
<https://oip.manual.canon/>

「本製品」をご利用になられた場合には、お客様は、「本製品」に適用されるすべてのライセンス条件に同意したものとさせていただきます。お客様が、ライセンス条件に同意できない場合、担当サービスにご連絡下さい。  
以上

V\_201211

# Memo





## 検索番号 の使いかた

1. オンラインマニュアル  
サイトを表示する

<https://oip.manual.canon/>

2. ユーザーズガイドを  
選択する

[imageRUNNER] ▶  
[カラー] ▶本機を選ぶ

3. 検索番号でユーザーズガイドを  
検索する

ABCD-123



## お問い合わせ

本機についてのご質問や修理のご依頼は、販売店または担当サービスへお問い合わせください。各種窓口は、キヤノンホームページ（<https://global.canon/>）内のサポートページでご確認いただけます。

# Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

